

INSPIRE

No.24

「あるがまま」と「わがまま」に生きるのは違う事だろう。

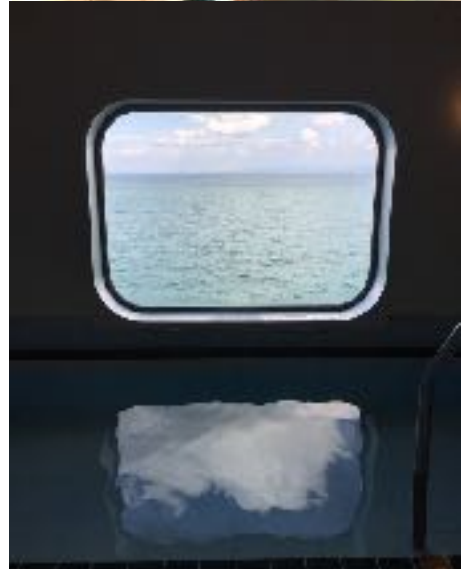
「あるがまま」それは自分の価値観や気持ちに素直になれることではないだろうか。あるがままに生きていないと、あるがままでない自分に慣れてしまうのではないだろうか。

1991年、私は高2だった。茨城のヤンキー高だったから、クラスメートは学校に隠れてバイク通勤。学校の近くに住んでいる生徒の庭はバイクの駐輪所と化していた。一方、私は自転車。小学生の時から、放課後は自転車で町をパトロールしていた。捨て猫を保護したり、落し物を届けたり、町の隅々まで知っていた。そんな私にとって自転車は特別な存在だ。しかし、クラスメートに自転車の旅の素晴らしさをいくら語っても、バイクの方が楽だと話す。自転車に乗っていると、自分の力で移動している。行くか行かないかは自分の体力次第。そして、風には食べ物の匂いや季節の木々の匂いが混ざっている。自転車ならではの冒険だ。

1991年の夏、自転車のカゴに寝袋を突っ込み、フェリーに乗り込んだ。私の「あるがまま」の夏が始まった。何人もの「知らないおじさん」「知らないおばあさん」に出会った。旅は道連れ世は情け。色々な人話を聞かせてくれる。出会ったおじさんがこんな事を言っていた。「決まったところに行くのが好きじゃないんだよ。旅行会社に、何時に集まってとか決められるの。好きじゃないんだよ。時間はいっぱいあから。退職後は毎日が正月だから。ガハハハ」毎日どんなに学校に通っても決して出会えない人たちだろう。今、子供たちは学校以外でどんな人に出会っているだろうか。

2016年、24年ぶりにこうして同じフェリーに乗っている。船の甲板に出たら、寝っ転がって、テープを聞いている自分に会えるかと思っていた。残念ながら、懐かしい思いはない。同じかと思ったら、まったく船に面影がない。2016年の9月からこの次世代フェリーは就航しているらしい。お風呂も入れる。豪華客船みたいだ。この次世代フェリーにただ驚かされている。今回も「知らないおじさん」に出会って、旅の話をしてくれた。「俺は高校も出ていないから、海外では英語は単語で話す。文法メチェクチャ。下手だから面白いんだよ。なんとかなってるよ。度胸の良い方が勝ち！ガハハハ」誰も、自分のことになると声が大きくなる。それでもいい。200名近く乗れる船に10名しかいないんだから、ガラガラだ。

ギフティッドの子供たち。期間限定でもいい。あるがままに生きる！
NPO法人Feelosopher's Path Japan 今瀬博



ああ息子

異性なのに似てないようで似ている息子よ、キミは間違いなく私の息子だ！

	母	V S	息子
脳タイプ	ADHD系アホ？		LDディスグラフィア系ギフトッド？
性格	外向7：内向3		外向3：内向7
体型	痩せ型高身長		痩せ型高身長
得意科目	体育・休み時間		算数・給食
敵	男子小学生 担任		女子小学生
好みの音楽	70～80年代ロック		70～80年代ロック・ボカロ・
初恋の時期	小学6年生		小学6年生（母予測！）
初恋の相手	10歳上家庭教師大学生		10歳年上個別講師大学生(母予測！)
タイプ	面食い（昭和ロン毛男）		面食い（平成ロン毛女）
不調時	円形脱毛症 胃弱 チック		円形脱毛症 胃弱 チック
学校	嫌い		嫌い

に・に・似てるう・・・（汗）。どちらもアタマ悪そうで子供時代はサイテー！理想は秀才スポーツ児童、幼少から続くモテ期、従順かつ自慢出来る子供。

だが現実には、外見は父似DNAで中身は母似DNAが盛り沢山！なぜ両方の美味しいトコ取りコラボにならなかったの？自分の情けない子供時代を繰り返す息子よ、呪われたDNAが悔やまれてならない！母は息子に申し訳ない気持ちでいっぱいよ。

でも、わが子だもん、皆さんトコもきっと沢山の類似点はありますよね？だからずうっと寄り添いましょうね！おたがいにギフトッドを持つ親の宿命なのだから。

gifted newsletter no. 24

「幸せは歩いてこない、だから歩いていくんだよ」

「誰かが私を幸せにしてくれるはず」と思っている人がいます。常に誰かに何かしてもらうことを期待し、自分を幸せにしてくれないとわかると相手に不満を持ちます。そんな人は永遠に幸せになれません。なぜでしょう。

人は自分自身だけを幸せにすることができるのでしょうか。もしそうだとしたら無人島に一人で暮らしても幸せになれるでしょう。想像できますか。人付き合いの煩わしさは逃れられるでしょうが、孤独は最大の苦痛です。

誰かに優しくしてもらった時、親切にしてもらった時、幸せを感じる人はいるでしょう。その経験が「私は誰かに幸せにしてもらうしかない」という考えに結びつき、人から幸せにもらうことを待ち続けるようになるのでしょうか。

しかし、世の中は単純ではありません。単純な解決法はだいたい間違っています。「急がば回れ」のように、逆説的なことが多いのです。

では、誰かが幸せにしてくれるのを待ち続けていても、幸せになれないのはなぜでしょうか。「私を幸せにして」とただひたすら待っている人を、「幸せにしたい」と思う人がどれぐらいいるのでしょうか。それは代金を払わずに、商品が手に入らないことに文句を言い続けているようなものです。ただで幸せは得られません。

次に、家族や友人など周りの人たちが不幸なのに、自分だけ幸せになれるのでしょうか。想像しにくくないでしょうか。逆に周りの人たちが幸せなのに、自分だけ不幸なのを想像できるのでしょうか。

そう、つまり自分が幸せになれるかどうかは、周りの人たちが幸せかどうかによるのです。幸せとは個人で味わうものではなく、家族や友人と共有するものなのです。

だから、幸せになりたかったら、「周りの人を幸せにする」ことが必要なのです。「誰かを幸せにする」という代償を払わなければ、幸せにはなれません。また、周りの人だけでなく、「世の中の人たちを幸せにする」ことも、より大きな幸せを得るには必要です。

これが、私が高校時代から「幸せに生きるにはどうしたら良いか」と考え続けた結論です。良かったら参考にしてください。

今回がコラムの最終回です。皆様の幸せに少しでも貢献できていれば、私にとって最大の幸せです。では、皆さんお元気で！

尾山台すくすくクリニック 院長 新井慎一

新井先生はご多忙の中、2年間にわたり、日本ギフトッド協会のニュースレターを通して、ギフトッドの子供たちのために、アドボケイトしてくださいました。本当にありがとうございました。